

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
1	427	農業推進事業	経済部農業政策課	地域農業の振興を推進する。	農業推進委員を通じて、農業に関する情報を農家に提供するなど地域農業の振興を推進する。 農業推進委員任期：2年 推進委員数：350名	説明資料の添付や問合せに対し、訪問する等丁寧に対応することで、農業推進委員からの問合せや苦情は減少傾向にある。
2	428	融資対策事業	経済部農業政策課	効率的かつ安定的な農業経営を営むために必要な、農業用機械等の購入や施設の改善などを目的に、農業近代化資金や農業経営基盤強化資金の融資を受けた経営体を支援する。	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。	農業近代化資金利子助成金（168千円） 農業経営基盤強化資金利子助成金（79千円） 農業系統農業災害資金利子助成金（17千円）
3	429	渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）	経済部農業政策課	農業生産の基盤である優良農地の保全と適正な土地利用を管理する。	農振法などの関係法令に基づき、年に2回、編入、地区除外等により農用地計画の変更を行うほか、概ね5年ごとに市全体のつくば農業振興地域整備計画の見直しを行う。	つくば農業振興地域整備計画に基づき、優良農地の保全と適正な土地利用の見直しを実施した。 農用地利用計画変更申請実績：41件、7.0ha（内訳6月：12件4.9ha、12月：29件2.1ha、その他3件） 各地区現地調査会開催：5地区10回 農業振興地域整備促進協議会を書面決議により開催した：2回
4	430	新規就農者支援	経済部農業政策課	農業従事者の高齢化等による担い手不足を解消し、地域農業の活性化を図る。	つくば市農業次世代人材投資資金事業を実施して、新規就農者を育成する。新規就農（希望）者に対し、つくば地域農業改良普及センター（県）と協力し、就農相談を行う。	つくば市新規就農者経営支援補助金を1名、農業次世代人材投資資金を17名、新規就農者育成総合対策（経営開始資金）を3名に交付することで、新規就農者の経営を支援した。
5	432	都市農村交流事業	経済部農業政策課	農業体験イベントを通じた市民及び首都圏沿線の都市住民と生産者の交流を通して、農業の活性化を図る。	市内及び首都圏沿線の都市住民に「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等の農業体験を通じて農業に触れる機会を提供する。また、そのPRを実施する。	「農産物オーナー制度」や「農業サポーター制度」等の農業体験事業を通じて、市民と生産者の相互交流が図られた。また、市内の農業や農産物について周知が図られた。「農産物オーナー制度」では、参加者にアンケート調査を行うことで、参加者が希望する申込方法や効果的な周知方法について事業に反映することができた。
6	433	地産地消推進事業	経済部農業政策課	農業や地元農産物に対する理解促進を図るとともに地産地消を推進する。	①6次産業化に取り組む農業者の掘り起こしを行いながら、取組に対し支援する。 ②地元産食材を使った店舗を認定し地元産食材のブランド化・消費拡大を図る。	農産物加工の取組への支援や地産地消店の認定及びPRを行い、農産物の消費を喚起することができた。 ・6次産業化事業の相談件数1者1回、市産農産物等を使用したつくばコレクションの認定件数2件 ・地産地消レストラン（地産地消店）延べ認定件数157件

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
7	434	果樹振興事業	経済部農業政策課	果樹農業を振興するため、ブルーベリー及びワイン用ぶどうの新植や圃場面積拡大を支援する。	ブルーベリー及びワイン用ぶどうの栽培面積拡大に要する経費（苗木や資材等の購入費用）を補助する。補助率は総事業費の1/2以内（上限150千円/10a）とする。また、ブルーベリーのアウトウシヨウジョウバエ対策のための生ごみ処理容器の購入費を補助する。補助率は購入費の1/3以内（上限2,000円/圃場）とする。	新規圃場整備を支援することで、将来的に収量増加と果樹振興が見込まれる。 栽培申請面積内訳：ワイン用ぶどう3件10,811㎡、ブルーベリー2件6,061㎡
8	435	つくば芝振興対策事業	経済部農業政策課	市内で生産される在来芝及び茨城県が育成選抜した新品種を統一した販売戦略のもとで振興し「つくば芝」のブランド化を推進する。	本市特産物である芝のPRのため、栽培技術の講習会や各種普及活動を行う茨城県つくば芝振興協議会を支援する。	つくば芝振興協議会と連携し、つくば市のブランド芝4品種（つくばグリーン、つくば姫、つくば太郎、つくば輝）の原種管理を徹底したことにより、高い品質を維持することができた。ブランド芝4種及び在来種を市役所庁舎前広場において、来庁者にPRした。三菱地所が手掛けるTOKYOTORCHPARKのブランド芝設置部分に遊具を設置し、来場者の芝生体験を促し、普及に向けた周知を図ることができた。
9	436	遺伝子組換え作物栽培連絡会事業	経済部農業政策課	遺伝子組み換え作物栽培に係る情報を積極的に公表し、市民の不安の払拭、情報の共有化を図る。	遺伝子組換え作物の実験栽培機関から提出された栽培実験計画書に基づき、つくば市遺伝子組換え作物栽培連絡会を開催し、栽培実験の実験内容と安全対策等について説明を受け、市民に安心してもらうために、市のホームページ等に掲載し市民に周知する。	つくば市遺伝子組換え作物栽培連絡会を6月、ほ場見学会を8月に開催し、市内で行われる遺伝子組み換え作物第一種使用について、市民へ情報共有を行った。また、遺伝子組換え作物（第一種使用）の栽培状況に加え、ゲノム編集作物栽培状況や国主催の見学会情報をホームページに掲載し、理解推進を図った。
10	437	儲かる産地支援事業	経済部農業政策課	消費者や実需者のニーズに対応した高品質な農産物を安定的に供給するために必要な機械・施設の導入、コスト低減や作業省略化のための高性能機械等の導入を支援し、競争力の強い園芸産地を育成する。	高品質な農産物を安定的に供給するために必要な機械・施設の導入、コスト低減や作業省略化のための高性能機械等の導入にかかる事業費の1/3以内を補助する。※茨城県「儲かる産地支援事業」	茨城県から1件事業採択を受け、営農団体への高性能機械の導入を支援した。
11	438	いばらきの産地パワーアップ支援事業	経済部農業政策課	水田・畑作・野菜・果樹等の産地が地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援する。	茨城県の計画承認を受けた営業者が行う高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な施設整備や農業機械のリース導入にかかる事業費の1/2以内を補助する。※農林水産省「産地生産基盤パワーアップ事業」	農業者から事業内容に係る相談はあったが、申請に至らず令和4年度は実績なし。
12	439	農業経営対策事業（担い手育成総合支援事業）	経済部農業政策課	農業従事者の高齢化等による担い手不足を解消し、地域農業の活性化を図る。	つくば市担い手育成総合支援協議会を開催し、経営改善計画及び青年等就農計画の内容を精査することにより、農業経営の規模拡大・改善、認定農業者等の担い手の育成確保を図り、生産性の高い農業を実現し、地域農業の活性化を図る。経営体育成支援事業により、担い手が経営発展等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入を支援する。※令和4年度については、肥料費高騰対策支援事業を実施。	認定農業者の農業経営改善計画作成支援相談会及び随時相談を実施した。国等の補助事業を積極的に活用するため適切な情報提供を行った。経営体育成支援事業により、担い手が経営発展等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入支援を行った。地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による肥料価格高騰で経営が圧迫された農家の営農継続を支援した。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
13	440	耕作放棄地の活用	経済部農業政策課	農地の有効利用を促進し、遊休農地化を抑止する。	グリーンバンク事業を活用し「貸し手」と「借り手」の農地貸借に係る仲介・あっせんを行い、農地の有効利用を促進する。グリーンバンク事業を活用して契約が成立した農地について、雑草の繁茂等により荒廃農地の再生が必要な場合、それに係る費用の一部を市が助成し、担い手の負担軽減を支援する。	グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度を活用し、23件4,3haの貸借契約が成立した。 グリーンバンク事業耕作放棄地土壌改良補助金については、申請がなかった。 グリーンバンク貸手登録：59件14,0ha グリーンバンク借手登録：15件
14	441	農地中間管理事業	経済部農業政策課	担い手への農地集積・集約化を加速し、農業構造の改革と生産コストの削減を図る。	農地中間管理機構（茨城県農林振興公社）が、土地所有者から農地を借受け、地域の話し合い等で選定された担い手となる農業者等へ転貸することにより、効率よく農地を利用できるよう農地の集積・集約を促進させる。農地中間管理事業による農地の集積・集約に協力し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力を金交付する。	農地中間管理事業を活用し、82,6ha（再配分含む）の農地を担い手へ集積・集約することにより、農地利用の効率化につながった。農地中間管理事業説明会を開催し、一定条件を満たした地域等に、機構集積協力を金交付することにより、農地の集積・集約を促進できた。説明会の開催（2地区）：機構集積協力の金交付（3,629千円）
15	443	経営所得安定対策推進事業	経済部農業政策課	水稻生産調整及び経営所得安定対策等事業の推進。	水稻の生産調整や経営所得安定対策等に係る申請書の取りまとめ等を行うつくば市農業再生協議会の事務費を補助することで、これらの事業を円滑に推進する。	つくば市農業再生協議会に補助を行い、水稻の生産調整及び経営所得安定対策等推進事業を推進した。
16	444	環境にやさしい農業推進事業	経済部農業政策課	被覆植物を作付することにより畑からの土埃や表土流出を防止、また、化学肥料や化学合成農薬を低減することにより環境保全型農業を推進する。	・カバークロープ事業…冬場の作付けされていない農地からの土ぼこりと表土流出を防止するため、申請者に対して緑肥としてすき込みができる被覆植物の種子を無料配布。 ・環境保全型農業直接支払交付金…農業者等が地球温暖化防止等を目的に、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動を推進する。 ・有機資材購入費補助事業…特別栽培農産物の栽培に必要な有機資材購入費補助金を交付する。	・カバークロープ事業ではハゼリソウ361kg、ヘアリーベッチ574kg、約32,2ha分を配布した。 ・環境保全型農業直接支払交付金として、3団体に2,395,600円（1,939a分）を交付した。 ・有機資材購入費補助事業では8団体に2,280,300円（15,151a分）を交付した。
17	445	つくば市特産農産物廃棄物適正処理推進事業	経済部農業政策課	野焼きの原因となる葉刈り芝を適正に処理し、周辺的生活環境に配慮した農業を推進する。	ストックヤードを設置し、回収した葉刈り芝を堆肥化する。また、堆肥化を希望する農業者に堆肥化に必要な発酵促進剤と消石灰を無料で配布する。	・長高野地区にストックヤードを新設し、10月から11月の間回収を行った。 ・ストックヤード事業では5箇所（今鹿島・酒丸・前野・吉沼・長高野）で合計114回、83,670kgを回収した。 ・たい肥化事業は、農業者から6件の申し込みがあり、発酵促進剤を17袋、消石灰を17袋配布した。
18	446	林道整備事業	経済部鳥獣対策・森林保全室	森林事業の推進及び治山事業の効率的な施行に資する。	林道4線（沼田新田酒寄線、宮の沢線、筑野線、白滝線）及び市有林管理道の維持管理を実施する。	路面排水の確保と、グレーチングの盗難防止対策ができた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
19	447	里山林整備推進事業（旧：身近なみどり整備推進事業）	経済部鳥獣対策・森林保全室	生活環境の保全及び自然景観の維持など平地林及び里山林の保全を図り、地域住民にとって快適で豊かな森林環境づくりを推進するため、地域住民の提案等による地域の整備目的に沿った森林づくりを行う。	森林所有者から整備要望のあった荒廃した山林について、市が森林所有者に代わって下刈り及び間伐等の森林整備を実施し、翌年度から10年間は市と森林所有者とで締結した協定に基づき、森林所有者が維持管理を行う。	森林保全協定により森林の整備を実施したことにより、地域の景観や健全な森林環境の向上に成果を上げた。
20	448	森林整備事業（旧：筑波山市有林整備事業）	経済部鳥獣対策・森林保全室	筑波山市有林の整備について、森林の再生・保全のためのボランティア活動を実施してもらう。	森林ボランティア団体との協働による保全管理を実施する。筑波山市有林保全活用指針に基づき、自然環境に対する保全と森林利用を増進する。	森林ボランティア団体等の市民協働による森林整備を実施。
21	450	高崎自然の森管理事業	経済部鳥獣対策・森林保全室	利用者に自然の魅力を提供する。	委託による年間の管理作業として、施設の清掃、ゴミ拾い、除草等を実施する。森林ボランティアとの協働による森林の保全管理を実施する。NPOや農業者団体との連携による自然環境教育や森林体験、ブルーベリー収穫体験や剪定講習会を開催する。	森林環境の保全と育成を図り、利用者に自然とのふれあいの場を提供することができた。また、イベント等により、里山や森林が持つ公益的機能の必要性を伝え、親子で学ぶ機会を提供するとともに、市民協働の森林保全活動を実施することができた。
22	451	市単水田農業構造改革対策事業	経済部農業政策課	生産調整の実効性を確保し、農業経営の安定を図るとともに、団地化による高効率・低コスト化を推進する。	転作作物の圃場を現地確認し、生産調整達成者に対して国の補助に上乗せして助成金を交付する。	生産調整達成率：112.8%（配分面積1748.5ha、実績1971.5ha）
23	452	病害虫防除薬剤購入費補助事業	経済部農業政策課	イネ縞葉枯病の被害拡大を防止する。	イネ縞葉枯病の被害拡大防止のため、市内の稲作農家へ育苗箱処理剤（ネオニコチノイド系以外の薬剤）購入費の1/3補助（上限10a当たり1,000円）を行う。	申請要件を満たした申請者全員について薬剤購入額3分の1（面積による上限あり）の補助を行い、蜜蜂等生物多様性に配慮したイネ縞葉枯病の防除を推進した。
24	458	県単ため池整備事業	経済部土地改良課	安定した農業用水の確保と、豪雨等によるため池の被災の防止対策を図る。	地元要望を受けて、補助制度等を活用し、ため池等の整備を行う。	水田の干害対策として水源を確保し、台風等の災害対策としての整備を行った。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
25	463	霞ヶ浦用水建設事業	経済部土地改良課	豊かな地域づくりを推進するとともに農業基盤の充実を図る。	※国の事業であり、つくば市は負担金を納める。つくば市の受益面積は水田2,045ha、畑1,061haである。13市町の水田10,919ha、畑地及び樹園地8,375haの農地に、最大17.8立方メートル/秒の農業用水を供給する。	用水工事が実施され、市内の農業用水の確保ができた。
26	464	水利施設管理強化事業（旧名称：国営造成施設管理 体制整備促進事業）	経済部土地改良課	土地改良区を指導し、経費を補助することで、管理体制の整備を図る。	計画策定事業：土地改良区の管理体制構築に取り組み、管理水準及び体制等について計画を策定する。 推進事業：計画に基づき、関係団体との協議調整及び組合員・地域住民への啓発普及と連携強化活動を実施する。 支援事業：国営造成施設（霞ヶ浦用水）及び国営附帯施設を管理している土地改良区の管理体制の整備に要する経費を支援する。	農業用水利施設の適正管理により、農業用水利施設の持つ多面的機能を維持することができた。
27	465	土地改良区工事補助事業	経済部土地改良課	農業生産基盤の確立と農業生産性の向上を図る。	土地改良区が農業用施設の改修等のため実施する国庫補助事業に対して予算の範囲内で補助する。	土地改良施設の整備改修に対する補助を実施することにより、農家負担の軽減と安定した農業生産が可能となった。
28	466	多面的機能支払事業	経済部土地改良課	農業者や地域住民による農業資源や農村環境の保全活動を支援する。	活動組織は5年間の事業計画を作成し、市の認定を受けたくえて活動を実施する。 市は活動組織に対し、農用地の面積に応じて交付金を交付する。 交付額：農地維持（田＝3,000円/10a、畑＝2,000円/10a）、資源向上（田＝2,400円/10a、畑＝1,440円/10a） 負担割合：国50%、県25%、市25%	地域資源の適切な保全管理により、農業・農村の持つ多面的機能を維持することができた。
29	467	土地改良施設管理支援事業	経済部土地改良課	土地改良施設の機能を良好な状態に維持する。	地域活動組織では対応が難しいため池の除草や排水路の浚渫を実施することで、これらの農業用施設の機能維持と適正な管理を図る。	土地改良施設の良好な状態を維持することができた。
30	468	湛水防除施設維持管理事業	経済部土地改良課	湛水被害を未然に防止して農業生産の維持及び農業経営の安定化を図る。	河川の水位上昇により自然排水ができなくなる時期（4月～9月）に機械排水を行うとともに施設の維持管理を行う。	各土地改良区と連携して施設の適切な維持を行うことで、湛水被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定に貢献できた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
31	474	雇用促進対策事業	経済部産業振興課	ハローワークや関係機関と連携し、就労支援を行う。また、就労支援を通し、企業の人材確保につなげ、健全な経営を促進する。※令和4年度から「4.7.3若者地域定着加速化事業」の規模を縮小し統合	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材の就労機会を創出するため、つくば市ふるさとハローワークに3名の会計年度任用職員を配置し、職業相談や職業紹介の補助及び雇用制度や職業情報の周知等を行う。 ・市内に就職を希望する求職者を対象にした、就活イベントを開催することで、市内企業とのマッチングの場を提供し、雇用の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市ふるさとハローワークの適正な維持管理と運営により、求職者に対する雇用機会の増大に寄与することができた。 ・就活イベントについては、企業の採用力を高めるためのセミナーや就活支援イベント（就職フェア）を開催することで、市内企業と求職者とのマッチングの機会を提供することができた。
32	475	商工総務事業	経済部産業振興課	市内商工業者の指導的立場である「つくば市商工会」との連携を密にすることで、中小企業の経営基盤の安定・強化を図り、地域振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・商工行政の総合調整を図るため、市商工会と産業振興連絡会等を開催し意見交換や情報共有等を行う。 ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行う。また、採石法に基づく採石計画に記載されている緑化事業の一環として、宝篋山ふるさとの山づくり事業（植樹事業）を実施し、宝篋山の採石場跡地の早期緑化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興連絡会を通じて、市及び商工会の事業について情報共有を行うことにより、連携を密にして事業を行うことができた。（産業振興連絡会の開催：9回） ・砂利採取法及び採石法に基づき、適切に事務処理を行うことができた。また、ふるさとの山づくり懇談会を開催し、令和5年度開催予定の植樹祭について協議することができた。
33	478	融資対策事業	経済部産業振興課	市内の中小企業者に対し、事業資金の融資あっせん及びこれに係る補助等を行うことにより、中小企業の金融の円滑化を図り、経営基盤の安定・強化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・融資あっせん審査会を開催し、自治金融利用者のための融資あっせんを行う。 ・茨城県信用保証協会への信用保証料分の補助、自治金融利用者への利子補給を行う。 ・台風等の災害対策融資に対する保証料補助や利子補給を行う。 ・創業支援融資に係る補助金の交付を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月融資あっせん審査会を開催し融資あっせんを行うとともに、自治金融利用者へ利子補給及び信用保証料補助を行うことにより、中小企業の金融の円滑化を図り、事業基盤の安定に寄与することができた。 ・創業支援融資に係る補助金の交付を行うことにより、創業初期の資金繰りの安定しない事業者に支援を行うことができた。
34	479	つくば産業創出支援事業	経済部産業振興課	市内企業のビジネスの成長に繋がる環境を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業等の技術革新や国内外の販路拡大等を促進させるため、資金の補助や情報発信、産業展示会への出展等の支援を行う。 ・市内企業等のイメージ向上や販路拡大を図るため、優れた商品やサービスの認定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会出展支援補助金及び中小企業経営力強化促進補助金を交付することで、市内中小企業の事業拡大及び販路拡大につなげることができた。 ・つくば市発の優れた商品や役務（サービス）を「つくばクオリティ」として認定することで、認定品事業者のイメージ向上や製品等の販路拡大、販売促進につなげることができた。
35	480	創業支援事業	経済部産業振興課	国から認定を受けた創業支援等事業計画に基づく創業支援施策の実施により、地域産業の活性化及び産業競争力の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業競争力強化法」により国から認定を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、「創業支援ネットワーク会議」を構成する支援機関が一体となり、創業希望者にセミナーや相談事業などの創業支援施策を実施する。 ・市内での創業を促進するため、新規創業希望者の法人設立に係る費用に対して補助金を交付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業啓発セミナーを開催し、専門家や創業経験者からのアドバイスや市のサポートメニューを案内することで参加者の創業意欲向上につなげることができた。 ・新規創業促進補助金（会社設立時の登録免許税及び定款認証手数料補助）を交付することで、新規創業希望者の創業を促進させることができた。
36	483	企業立地推進事業	経済部産業振興課	新たな企業の誘致と立地企業の定着化及び事業規模拡張を促進し、産業の活性化と雇用の拡大を図ることで、市内の経済活性化、税収の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市工業団地企業連絡協議会の運営を行う。 ・新たな企業の立地につなげるため、企業誘致活動を推進するとともに、産業用地情報を収集する。 ・企業の操業環境を把握し、企業活動の円滑化を支援するため、立地企業への訪問等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つくば市企業立地促進補助金」を創設し、企業誘致の推進を図ることができた。 ・市工業団地企業連絡協議会の総会・役員会を開催し、会員企業との情報共有を図ることができた。 ・県や宅建協会と連携しながら、産業用地情報を収集し、市内への立地を希望する事業者に対し用地の情報を提供することができた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
37	486	ブランド推進事業	経済部産業振興課	市内の優れた物産品等をブランド化し、販路拡大やイメージアップを図る。	・市内物産品等の普及促進のため、認証制度によりブランド化を行う。 ・市内物産品等の魅力向上のため、物産品等の改良、新規開発等を支援する。	・市内物産品等をつくばコレクションとして認証することにより、物産品等のPR及び販路拡大につなげることができた。 ・物産品イベント等へ出店することで、物産品のPR及び販路拡大につなげることができた。 ・乾杯条例推進を目的とした、地酒のPRイベントを推進し、認知度の向上へつなげた。
38	487	筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業）	経済部観光推進課	筑波山の観光資源を最大限に有効活用し、年間を通じて誘客を行うことで、周辺観光産業の活性化を図るための施設の整備を行う。	筑波山周辺地域の周遊促進及び訪日外国人等の満足度向上を図るため、一部に補助金を活用し、関連施設の整備を行う。令和4年度の主なものとして、筑波ふれあいの里キャンプ場の改修設計などを行う。	筑波山観光客に対し、混雑状況など新たな情報取得手段が提供できたことで筑波山の魅力度向上が図れた。
39	488	筑波山麓整備事業	経済部観光推進課	山麓地域の活性化を図るとともに、宝篋山周辺観光施設の整備を進める。	利用者の利便性向上を図るため、筑波山山麓及び宝篋山小田休憩所等の改修工事及び案内看板等の整備を進めていく。	宝篋山小田休憩所トイレ改修を実施し、宝篋山登山者の利便性向上を行った。また、宝篋山登山道上に注意喚起看板を設置し、適正な登山道への誘導を行った。その他、繁忙期に臨時駐車場を設けたことで路上駐車抑制となった。
40	489	観光施設維持管理事業	経済部観光推進課	市内観光施設の快適性と利便性の向上を図る。	快適で魅力ある観光地として、観光施設を適正に管理する。筑波山頂施設維持管理、市営駐車場維持管理観光案内施設維持管理、梅林維持管理宝篋山休憩施設維持管理、荃崎地区観光施設維持管理	現状に合わせて修繕計画を見直し、各施設の修繕を適宜行うことで、観光客の利便性向上を図った。
41	491	まつりつくば事業	経済部観光推進課	市民が参加できるイベントを開催することにより、地域交流及び世代間交流の促進を図るとともに、つくば市の魅力を広く発信することで、地域経済の活性化を図る。	実施イベントについては、魅力的なアイデアを持った市民の参加を促すため、公募により決定する。なお、新型コロナウイルス感染症に鑑み、近隣住民や来場者、参加者に配慮した安全安心のイベント開催に努める。	現地開催に向け準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて開催中止となった。令和5年度の開催に向け、従来のパレード会場の懸案事項であった、マンション出入口の交通規制問題について、住民理事会において、理解が得られた。
42	492	森林体験パーク施設管理事業	経済部観光推進課	市有地の保全を図りながら、新たな観光の活性化に繋げる。	筑波山の自然をテーマに森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光施設を提供する。また、快適で安全な施設利用を提供するため、装具の更新やコース内の安全管理、樹木医による立木の調査により適正な維持管理を行う。※PR：ホームページやチラシの配布での情報発信、つくば市民の日キャンペーンや梅まつりでのイベント共催	施設修繕により利用者の安全性を確保した。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
43	493	つくばフェスティバル事業	経済部観光推進課	つくば市の多種多様な魅力を市内外へ発信し、新生活がスタートした新緑の季節を彩る晴れやかなイベントとして、多くの来訪者に愛されるイベントを開催する。	市内の対象店舗を巡っていただくスタンプラリーを開催する。スタンプラリーのマイページでは、国際と科学、ジオパークをテーマにしたクイズコーナーを設ける。スタンプラリーの賞品を市内物産品とすることで、併せて物産品のPRをすることができる。	新型コロナウイルスの影響により自粛ムードが続いてきた中で、スマホスタンプラリー企画を実施することで、多くのお客様に市内の様々な素敵な場所を知っていただくきっかけを作り、新たな出会いや発見を提供することができた。さらに、市内全域の周遊を促し経済活動を活性化させるとともに、賞品を市内の物産品とすることで、今まであまり知られていなかった物産品のPRを行うことができた。
44	494	くさざきまつり事業	経済部観光推進課	茨崎地域の活性化及び世代間交流の促進を図る。	地域のふれあいの場としてS49年から商工業祭、H12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。現在は、地域活性化を促進するため、茨崎地区の区会長や、PTAの関係団体等により実行委員会が組織されており、より地域に根ざした市民参加型のイベントとなっていることから、当該事業に対し、開催のための補助金を交付するとともに、助言等を行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響で事業は実施しなかった。 ・中止判断や周知方法について助言した。
45	495	つくば観光コンベンション協会補助事業	経済部観光推進課	行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。	つくば観光コンベンション協会の事業を支援するとともに、当該協会が行う市内の観光産業の振興に資する取り組みを促進し、もって地域経済の活性化を図る。誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。	財政の支援を行い、協会経営の安定化と観光誘客の推進を図ることができた。つくば市観光推進課とつくば観光コンベンション協会それぞれ業務の整理を行い、両者の役割分担の方向性を共有することができた。つくば観光コンベンション協会と連携し、イベントの運営、広報を行うなど、官民一丸となった誘客事業を推進することができた。
46	496	観光振興事業	経済部観光推進課	つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。	市内の観光情報の発信（つくば市の魅力ある観光スポット等を紹介することにより、市内外から多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指す。）観光情報の広告掲出やメディアへの情報発信等を積極的に実施する。	国内外のインフルエンサーを活用したSNS投稿や撮影した動画を市HPに掲載するなど、観光情報の発信強化を行うことができた。地元民間事業者等と連携し、観光庁のインバウンド向け誘客施策の補助事業に応募することができた。
47	497	つくば市学術会議支援事業	経済部観光推進課	つくば市内における学術会議の開催促進を図る。	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ補助金を交付する。	市の事業者への経済効果を検討するため、他自治体や団体の補助事業の情報収集を行い、今後の方向性を定めることができた。また、次年度の要項を時世に合ったものにするため、要項の一部を改定する調整を行った。
48	498	筑波山交通渋滞対策事業	経済部観光推進課	春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和を図る。	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し、筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、風返し峠などの混雑する箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導を実施する。登山道の混雑緩和対策として、女体山頂付近に誘導員を配置し、列整理及び案内アナウンスを行う。	・春はつづじヶ丘と臨時駐車場を往復するパークアンドバスライドを実施し混雑緩和を図れた。秋は、新たなルートでのパークアンドバスライドの実施を調整したが天候不良により実施には至らなかった。 ・女体山山頂付近に警備員を配置し、女体山山頂へ向かう人の列整理を行うことで、登山道まで溢れていた人の列が無くなり、混雑ながらもスムーズに誘導することができた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
49	499	おもてなし観光推進事業	経済部観光推進課	観光客の満足度の向上を図る。	おもてなしの強化と観光客の満足向上を図るため、（一社）つくば観光コンベンション協会と連携し、観光案内所における案内業務や観光ボランティアガイドの育成等を行う。	リモートガイドの実施や、現地での観光ガイドも一部実施することができた。「観光協力の家」への登録者を4件追加し、筑波山観光のおもてなし体制を強化することができた。
50	500	周遊観光促進事業（旧：フットパス事業）	経済部観光推進課	地域の観光資源のブラッシュアップ及びGWや紅葉期等に筑波山へ集中する観光客の分散化を図るため、既存の筑波山麓地域や各地域のマップ、地域の団体が作成したマップ等を活用し、周遊観光を促進する。	市内に点在する観光資源を線としてつなげる。フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。マップの電子化を検討し、地域への周遊を促し、地域経済の活性化を図る。	地元住民等と連携し、上郷周辺まちめぐり電子スタンプラリーを実施した。521人が参加し、192人から抽選商品への応募をいただくことができた。周遊観光を促すため、市内の観光スポットの写真及び動画を撮影し、コロナ後に向けた観光PR素材の収集をすることができた。
51	505	サイエンスツアー事業	経済部観光推進課	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性をいかし、研究機関等と連携し市内外からの誘客を図る。	茨城県や地元産業等と連携しサイエンスツアーバスを巡回させることで、回遊性の強化を図り学校団体を中心に一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客し、地域産業の活性化を進める。	感染症対策を徹底したうえで、サイエンスツアーバスの運行、夏休みの特別企画などを実施できた。また、引き続き、教育委員会の協力を得ながら、学校向けへのイベントPRの強化を行うことができた。茨城プレデスティネーションキャンペーンでは、エクスカッションコース内でサイエンスツアーバスや、JAXA等研究所の紹介を行い、県外の観光事業者へPRすることができた。
52	506	観光客動態調査事業	経済部観光推進課	観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び筑波山・宝篋山への入込数を調査し、県に報告する。（委託）筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントの来場者数も報告を行っている。	つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山・宝篋山での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。 ※筑波山・宝篋山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。
53	507	筑波山地域ジオパーク推進事業	経済部ジオパーク室	地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産の保全・保護による教育や防災活動、ジオツーリズムなどを活用した地域の持続可能な発展	学校教育を通じた教育・普及活動（出前授業や支援プログラムの実施）ジオサイトの保全体制の強化（ジオサイトの調査、保全計画の検討）ジオガイドの養成及び体制づくり、ジオツアーの開催（ジオガイド組織の立ち上げ、ジオツアーの充実）他のジオパークとの情報交換及び連携（JGN大会への参加）ポトムアップの協議会体制の強化（各部会活動の推進、会合の定期開催）	・つくば市内でガイドが提案するツアーを2回実施し、ガイドの育成を図った。 ・出前授業や校外学習、教員向け研修など、学校教育を通じた教育・普及活動を推進することができた。 ・保全サイトの候補地を選定することで、保全対象の調査を進めることができた。 ・ホームページのリニューアル、SNSによる情報発信の見直しに取り組み、発信力向上を図った。
54	508	ゆかりの森管理運営事業	経済部豊里ゆかりの森	施設の充実を図り体験・滞在型余暇施設活動の場を提供する。	敷地内平地林の自然環境保全に努め、里山の自然公園として活用し併設している宿舍「あかまつ」・工芸館・昆虫館・キャンプサイト・バーベキュー場・テニスコート等の施設の充実及び管理運営を行い、体験・滞在型余暇施設活動の場として環境づくりを推進する。	森林内の草刈りや倒木、枯木の撤去を随時行い、所内の環境保全を図った。また、各施設の修繕工事を行い施設を適切に維持管理、及びWiFiやインターネット予約のサービスを開始することで、利用者に快適で魅力的な観光施設を提供することができた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
55	509	ふれあいの里施設管理運営事業	経済部筑波ふれあいの里	学童や都市生活者及び市民等が自然環境や農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図る。	実習館、コテージ、キャンプ場、バーベキュー場等施設の運営管理。	利用者に徹底した感染対策を行っていることを口頭やチラシ等でアピールし協力のお願いをしたことで、感染の不安なく施設を利用してもらうことができた。改修により施設の衛生面の向上と清潔感が増し、利用者に快適な施設を提供することができた。
56	991	家畜伝染病予防事業	経済部農業政策課	家畜伝染病のまん延予防と畜産経営の安定を図る。	家畜伝染病予防法に基づく検査等を実施し、伝染病予防に努める。つくば市畜産協会を通じ、畜産農家に対して衛生薬剤等購入費の補助を行い、畜産経営の安定を図る。	県及び畜産農家と連携し、各種家畜検査等を適切に実施した。令和5年2月に、かずみがうら市において高病原性インフルエンザが発生したことを受け、市として防波措置に協力した。県の指示のもと鳥飼養者に農場消毒用石灰の配布を行い、地域の家畜伝染病予防を推進した。
57	992	畜産振興事業	経済部農業政策課	各畜産団体等と連携し、畜産振興と生産性の向上を図る。	畜産振興のため、共助会に出品した畜産農家に対して奨励金を支払う。 ※令和4年度については、飼料費高騰対策支援事業を実施。	茨城県県南肉用牛枝肉共助会に出品し（6名10頭）、生産技術の向上や牛肉のPRを推進した。地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染拡大等の影響による飼料価格高騰で経営が圧迫された畜産農家の営農継続を支援した。
58	993	農業用廃プラスチック適正処理推進事業	経済部農業政策課	農業用廃プラスチックの回収及び適正処理を行うことにより不法投棄や野焼きを防止し、また、農村環境の保全を図る。	不法投棄や野焼きを防止するとともに農村環境を保全するため、農業用廃プラスチック等を回収し適正処理を行う。実施：8月から12月の間に合計7回	・ビニールは2回で4,310kg、ポリエチレンは5回で25,850kgを回収した。 ・市ホームページに年間の回収日程、適正処理に関する情報を掲載し、事業の啓発を行った。
59	1028	排水路整備事業	経済部土地改良課	農地の排水不良等を解消し、排水機能の改善と維持管理の軽減を図る。	地元要望等により排水路の整備や改修等を実施する。	排水路等の整備及び維持補修工事を行うことで、農地の排水不良等を改善できた。
60	1030	商工業振興事業	経済部産業振興課	社会環境や商業環境の変化、消費者ニーズの多様化を把握し、市内事業者に寄り添った施策を展開することで、市内事業者の経営基盤の安定・強化を図る。	・所管法令や権限移譲事務に基づく事務を実施する。 ・地域経済の活性化を図るため、市商工会への事業補助金や既存商店街等の活性化を目的とした補助金を交付する。 ・市内業者が長年の経営を通して培ってきた経営資源を次世代に繋げるため、事業承継支援を行う。	・市商工会への補助金や既存商店街等空き店舗活用補助金を交付することで、地域経済の振興に寄与することができた。 ・「茨城県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携して事業承継希望者を対象とした個別相談会を実施し、相談者に寄り添った支援を行うことができた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し番号	事業番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
61	1031	茎崎こもれび六斗の森管理運営事業	経済部茎崎こもれび六斗の森	安全かつ安心な滞在型余暇施設としての場を提供する。	敷地内の自然環境の保全、施設利用者に対する施設の充実観光施設としての適切な管理運営	民間のキャンプ場予約サイトによるキャンプ場予約を開始したことや、キャンプ場内のWi-Fi通信環境を整備したことにより、利用者の利便性の向上を図った。
62	1033	県営土地改良事業	経済部土地改良課	農地や農業水利施設などの基盤を整備することで農作業の効率化を図り、安定した農業経営を可能にする。	※茨城県が実施する土地改良事業を、土地改良区や地元協議会等と連携して推進する。 ・下手地区（R5年度事業完了予定） ・角内地区（R6年度事業完了予定） ・明戸上口地区（R8年度事業完了予定） ・小和田地区（R10年度事業完了予定） ・調査計画地区（下通後田地区、中別府地区）	茨城県が実施する各地区の土地改良事業について、土地改良区や地元協議会等と連携し、事業を推進できた。
63	1034	農道整備事業	経済部土地改良課	農作物の荷崩れ防止や輸送の円滑化による農業経営の安定を図り、農村環境の安全を確保する。	各土地改良区や区会等から農道の舗装や維持補修要望を受け、緊急性・必要性の高い箇所から優先的に整備・工事を実施する。	一般単独農道整備事業を行い、農産物の出荷輸送の円滑化に貢献できた。
64	1037	森林環境譲与税基金事業	経済部鳥獣対策・森林保全室	森林環境譲与税を森林整備や森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用促進等に関する施策に充てる。	森林環境譲与税は森林環境税を財源として、令和元（2019）年度から人工林面積及び林業就業者数、人口に応じて市町村に配分されている。つくば市は主に、森林整備や木育事業等に活用している。	（1）手入れの行き届いていない平地林・里山林の間伐や下刈りにより、森林の公益的機能を高めることができた。 （2）木のおもちゃに触れあってもらうイベントを開催し、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を実施することができた。
65	1038	観光PRの実施	経済部観光推進課	つくば市への観光誘客を図り、観光需要の拡大に寄与する。	つくばフェスティバル、まつりつくば、茨城県人会、賀詞交換会、筑波山梅まつり等のイベントに観光大使を派遣し、つくば市の観光PRを実施する。新聞等のメディアにつくば市の観光情報を提供する。守谷、菖蒲、酒々井等の高速道路のSAにつくば市の観光PRのチラシを設置する。SNS（Twitter、Instagram）での情報発信を行う。つくば市HPおよびつくスマアプリでの情報発信を行う。	SNSでの積極的な情報発信を行い、フォロワー数がTwitterは約790人増加し、Instagramは約1,000人増加させることができた。また、例年行っているサービスエリアへのチラシの設置に加え、つくば観光コンベンション協会が作成した観光大使を起用したPR動画を利用し、デジタル広告の掲出など市内民間施設のサイネージ等へのデジタル広告の掲出を新たに行うことができた。
66	1040	筑波山観光用水渇水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）	経済部観光推進課	筑波山頂の水量不足を解消し、観光用水の安定供給を図る。	筑波山観光用水である筑波山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、渇水状況を継続的に調査する。また、緊急対策として、老朽化し漏水が発生した管路の更新を検討していく。	湧水量の調査を実施し、関係機関と連携することで、渇水期における施設への影響を最小限に留めた。

令和4年度事務事業一覧（事務事業マネジメントシートから一部抜粋）

通し 番号	事業 番号	事務事業名	課名	事業の目的	事業の概要	成果
67	1041	中核拠点施設整備事業	経済部ジオパーク室	筑波山地域ジオパークの魅力を高め、ジオパーク活動を推進するため、その中核となる拠点施設を整備する。	筑波山地域ジオパーク関係者及び地域住民等を対象にしたアンケートやワーキンググループを実施し、広く意見や希望を反映した基本構想・計画を策定する。基本構想・計画を元に設計・改修工事を行い、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・旧筑波東中学校のリノベーション工事を完了し、筑波山地域ジオパークの中核を担う施設の整備を進めることができた。 ・筑波山地域ジオパーク中核拠点施設の展示物制作業務を発注し、展示物の制作を進めることができた。 ・旧筑波東中学校に整備される新施設の総称を、公募により決定することができた。
68	1069	鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業	経済部鳥獣対策・森林保全室	有害鳥獣による農作物被害や生活被害等の防止	つくば市鳥獣被害防止計画に基づき猟友会へ有害鳥獣捕獲委託を行っている。イノシシ被害防止のため、防護柵等の設置費用の一部補助を行う。狩猟者の確保のため、狩猟免許取得費用の一部補助を行う。イノシシの捕獲推進のため、イノシシ捕獲報奨金制度を実施する。	有害鳥獣捕獲による生活環境被害防止に寄与した。